

大門だより

No. 11

(470号)

荒川区立大門小学校

校長 野澤 一代

令和6年 3月 1日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

「 幸せの実感 」

校長 野澤 一代



3月の季語。桃の節句、ひなまつり、啓蟄、からすがい、若鮎、山椒の芽。黄色い花が見られる季節はもうすぐですね。学校の梅の花も花芽が大きくなり、あと少しで咲きそうです。

今回はまず、令和5年度「児童・生徒の学力向上を図る調査（第4～6学年対象）」の質問項目12「学習活動の工夫」の回答状況から。

先月号で「本校の研究」について書きました。その成果の一端が右の表の数字で表れています。東京都の平均より高いのは喜ばしいことですが、もっとも重要なことは、R4よりR5の方が高くなったということです。

「学習活動が工夫されている」という実感、「自分が学習に集中している」、「『対話』を心掛けている」「自分がんばっている」という子ども自身の振り返りがあるということです。

今年度は、学習もそうですが、学校行事も特別活動も児童に「がんばった実感」を感じさせるように教職員は毎日努力してきました。

教職員だけではありません。先月、「尾久ろっこうドッジビー大会」がありました。昨年度は1勝もできず残念でしたので、今年は子どもたちに「とにかく1勝！」と声を掛けました。するとなんと、準優勝！子どもたちだけではなく、今まで練習を一緒にやってくれていたPTAの方も飛び跳ねて喜んでくれていました。

「がんばってきた実感」がそこにありました。（運営やお手伝い頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。）そういった出来事の積み重ねが子どもたちの生きる力となり、心のエネルギーチャージになるのだと思います。

ユニセフの研究所が2020年「子どもの幸福度」を38カ国で国際比較し発表しました。日本は「身体的健康度」は1位でしたが、「精神的幸福度」は37位でした。

私は、大門小学校の子どもたちが日々幸せを感じられるようにしていきたいです。

4月になると、また新しい年度です。大門小学校は子どもたちのためにさらに進化していきます。

令和5年度は、大門小学校の教育活動に御協力、御支援を賜り、ありがとうございました。令和6年度もよろしく願いいたします。

質問項目「12 学習活動の工夫」		都		本校	
		R5	R5	R5-都	R5-R4
1	授業では、問題や活動に取り組んで「できた」「分かった」と感じるが多いと思う	87.7	90.8	3.1	5.8
2	授業では、前の時間までに学習した内容と結び付けて考える時間があると思う	76.3	80.4	4.1	6.4
3	授業では、他の教科で学習した内容を生かして考える時間があると思う	77.8	80.4	2.6	4.4
4	授業では、他の人と考えを交流しながら課題を解決する活動を行っていると思う	78.8	80.5	1.7	0.5
5	授業では、自分が理解したことや考えたことを他の人や先生に説明する時間があると思う	74.8	80.4	5.6	3.4
6	授業では、学習した内容をどのように振り返ったらよいかを、教えてもらっていると思う	73.2	77.5	4.3	3.5

質問項目「12 学習活動の工夫」		都		本校	
		R5	R5	R5-都	R5-R4
4	集中して学習に取り組んでいる	87.2	91.3	4.1	2.3
10	自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている	58.4	57.2	-1.2	0.2
12	他の人と相談して、考えを深めるようにしている	70.1	71.0	0.9	8.0

